

行政視察報告

行政視察は、議員として実際に現地を見て聞いてくるといふ貴重な経験となります。

議会改革に関する特別委員会 行政視察

5月26日、27日にかけて神奈川県逗子市と静岡県藤枝市を視察しました。

いずれの市も議会活動にタブレット型端末を導入し、本会議や委員会における紙の資料を排除しコスト削減、職員の負担軽減を実現しています。

逗子市では議長をはじめ3人の議員が対応してくださり、実際にタブレットを操作させていただきました。また、セルラーモデルと呼ばれるモデルを採用し、どこからでも資料が参照でき、また連絡に電子メールが利用でき、また、具体的にアップル社のアイパッド (iPad) を使っています。

必要な資料がある場合、職員に依頼して書庫に入れてもらうことができ、情報の公開が進んだこともメリットとしてあげられます。資料の提供が進むことにより、質問をせずに理解できることも増えているようです。

現在では市長事務局も同じタブレット型端末を利用し、情報の共有化、ペーパーレスに取り組んでいるとのこと。



タブレットの使用方法を教わって(逗子市)

藤枝市では、通常使っているパソコンとの互換性を重視してウィンドウズ (Windows) のタブレット型端末を導入しています。慣れたOSが使いやすい、USB等の外部インターフェースが欲しい、キーボードで入力もできた方が使いやすいとのこと。決まったこととです。特別なソフトは利用せず、タブレット端末にファイル(資料)をダウンロードして使っています。クラウド環境やネット環境の障害発生時の対応とのことですが個人的にはどのようなものかと感じた次第です。

福生市では庁議においてノートパソコンを使ってペーパーレスを図っていますが、本年度タブレット型端末(実際には2in1と呼ばれる取り外しができるキーボードの付属したものです)に交換される予定です。

※タブレット型端末とは、タッチパネルを主な入力インターフェースとする、板状の持ち運び可能なコンピュータです。

※庁議とは市における行政運営の基本方針及び重要施策を審議決定するとともに、各部署間相互の総合調整を行うことにより、市政の計画的かつ効率的な執行を図るための会議で、市長をはじめ管理職が構成員となります

正和会行政視察

昨年にも参加した都市問題会議が今年10月8日、9日に岡山市で開催されました。初日の開会時間が早いため前泊することになり、岡山県北部に位置する津山市を視察しました。

津山市では中心市街地活性化事業に関する実情と景観条例に基づきまちづくりを調査しました。福生市においても福生駅前周辺の中心市街地活性化の取り組みを福生市商工会が中心となつて

取り組み始めたところ。人口減少を食い止める一環としてのもちづくりによりの都市も取り組んでいる様子が見えました。報告書を参照してください。



2日目のパネルディスカッション

編集後記

今年選挙の年でした。5月の福生市長選挙、6月の参議院議員選挙、そして7月には都知事辞任に伴う東京都知事選挙と続きました。自分の選挙もさることながら上級選挙においても大変です。

来年6月から7月には都議会議員選挙が行われます。林田議員が引退を表明しました。後継者選定に苦心していますが、この報告が皆さまのお手元に届くころには確定していると思います。その際はよろしくお願いたします。

